

# 静岡県月例経済報告

(平成28年2月号)

……平成27年12月を中心とした県内経済のすがた……

No. 478

—静岡県経済産業部—

## 目 次

I 静岡県経済の概況 .....	1
II 静岡県主要経済指標の概況 .....	4
・ 需要面 .....	4
・ 生産面 .....	12
・ 雇用面 .....	15
・ その他 .....	18
III 静岡県主要産業の動向 .....	22
IV データからみた県内主要産業 .....	25

## 利用にあたって

- 1 本月報は、本県経済の状況について、経済統計及び産業動向をとりまとめたものである。
- 2 本月報は4部から構成されている。
- 3 第1部では、本県経済の概況について経済統計データを中心に述べているが、指標によっては当該月データが未公表のため前月値を用いる場合がある。これらの指標は文中に示している。
- 4 第2部では、本県経済の動向について主要経済指標を用いて、データとグラフで示している。
- 5 第3部では、本県の主要産業動向について簡単にまとめている。
- 6 第4部では、本県の主要産業動向についてデータで示している。
- 7 本月報で用いた ▲はマイナスを表している。
- 8 数字の単位未満は四捨五入することを基本としているが、情報提供元の公表方法に準拠させている。

この「静岡県月例経済報告」は、静岡県経済産業部のインターネット・ホームページに掲載しています。

ホームページアドレス(URL) <http://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/>

# I 静岡県経済の概況

〔本稿は、平成27年12月を中心とした経済統計及び企業ヒアリングをもとに取りまとめている。〕

## 概況

平成27年12月を中心とした静岡県の景気は、緩やかに回復しつつあるが、弱さがみられる。

先行きについては、堅調な設備投資などを背景に、景気回復の動きが確かなものとなることが期待されるものの、生産面での弱い動きと海外経済の動向に注意する必要がある。

雇用情勢は、改善の動きを続けている。

- ・ 個人消費は、やや弱さがみられる。
- ・ 設備投資は、持ち直している。
- ・ 輸出は、弱めの動きとなっている。
- ・ 生産は、減少傾向にある。

## 需要面

### ◎個人消費は、やや弱さがみられる。

大型小売店販売額(12月)は、百貨店が2か月連続で前年実績を下回ったものの、スーパーが2か月ぶりに前年実績を上回ったことから、総額でも2か月ぶりに前年実績を上回った。

自動車(新車)新規登録台数(12月)は、乗用車が4か月ぶりに前年実績を上回ったものの、軽自動車が12か月連続で前年実績を下回ったことから、総数でも21か月連続で前年実績を下回った。

### ◎住宅建設は、前年を上回った。

新設住宅着工戸数(12月)は、持家、貸家がいずれも3か月ぶりに前年実績を下回ったものの、分譲住宅が2か月連続で前年実績を上回ったことから、全体でも3か月連続で前年実績を上回った。

### ◎公共投資は、前年を下回った。

公共工事請負金額(12月)は、3か月ぶりに前年実績を下回った。

### ◎設備投資は、持ち直している。

日銀短観(平成27年12月14日)の27年度設備投資計画は、製造業、非製造業ともに増加する計画となっており、全産業でも増加する計画となっている。

着工建築物床面積(非居住用)(12月)は、13か月連続で前年実績を下回った。

◎輸出は、弱めの動きとなっている。

輸入は、前年を下回った。

輸出総額(12月)は、原動機が7か月連続、エアコンが2か月連続、科学光学機器が10か月連続で前年実績を上回ったものの、自動車は8か月連続、自動車の部分品が5か月連続、二輪自動車類が4か月連続で前年実績を下回ったことから、全体でも3か月連続で前年実績を下回った。

また、輸入総額(12月)は、原動機や自動車の部分品が前年実績を下回ったことから、全体でも2か月ぶりに前年実績を下回った。

なお、輸出入のバランスは、1,011億円の輸出超過となった。

**生産面**

◎生産は、減少傾向にある。

鉱工業生産指数(11月)は、化学工業やはん用・生産用・業務用機械工業などで前年水準を上回ったことから、総合でも5か月ぶりに前年水準を上回った。また、2か月ぶりに前月を上回った。

また、産業用大口電力消費量(12月)は、17か月連続で前年実績を下回った。

なお、鉱工業在庫指数(11月)は、総合では9か月連続で前年水準を上回った。

**雇用面**

◎雇用情勢は、改善の動きを続けている。

有効求人倍率(12月)は1.28倍で、前月を0.03ポイント上回り、23か月連続で1倍を上回った。また、14か月ぶりに全国値を上回った。

雇用保険受給者実人員(12月)は、29か月連続で前年実績を下回った。

また、所定外労働時間指数(11月)は、3か月連続で前年水準を上回った。

**その他**

◎物価は、前年を下回った。

消費者物価指数(1月)は、総合で102.8となり、前年水準を下回った。

また、前月比は0.3%下落した。

◎金融環境は、貸出残高は前年を上回り、信用保証金額は前年を下回った。

県内金融機関の貸出残高(12月)は、前年同月比2.8%増と前年実績を上回った。

信用保証協会保証金額(12月)は、前年同月比12.6%減と前年実績を下回った。

◎企業倒産は、件数、負債総額ともに前年を下回った。

企業倒産(1月)は、件数は19件、負債総額は前年同月比51.0%減といずれも前年実績を下回った。

《 県の取組 》

**【五輪開催を待つ東京で本県初となる静岡県産材見本市を実施】**

2020年東京オリンピック・パラリンピック大会での森林認証材の利用拡大を、国内外へ県産材を販路拡大する絶好の機会と捉え、県内企業と協働した県産材見本市を開催し、県産材の品質と供給力の高さをアピールしました。

また、初日の2月10日には、知事によるトップセールスを行いました。

○ 開催概要

名 称	森林の都しずおか物語ショー TOKYO×静岡の木
主 催	静岡県
開 催 日	平成28年2月10日（水）～12日（金）
場 所	リビングデザインセンター <sup>オゾン</sup> （東京都新宿区）
出 展 者	地域の製材工場間ネットワーク ・ 天竜水平連携協議会 ・ COC大井川グループ ・ オクシズネット ・ FUJI HINOKI MADE 先進的な加工メーカー ・ (株)ノダ ・ (株)中部メンテナンス ・ 丸天星工業(株) ・ 鹿島木材(株) ・ (株)イトーキ ・ (株)玉川きこり社

○ 来場者数 550人（設計事務所、ゼネコン、商社など）



○ 問合せ先 静岡県経済産業部 農林業局 林業振興課

TEL 054-221-2612

## II 静岡県主要経済指標の概況

### 需 要 面

#### 1 個人消費

##### (1) 大型小売店販売額

12月 = 42,800百万円

\*前年同月比： 0.2%増

(県内3百貨店、133スーパー合計)

<概況>

12月の大型小売店販売額は42,800百万円で、前年同月比 0.2%増となり、2か月ぶりに前年実績を上回った。

業態別にみると、百貨店（前年同月比 1.5%減）が2か月連続で前年実績を下回ったものの、スーパー（同 0.7%増）が2か月ぶりに前年実績を上回った。

商品別では、衣料品（同 5.2%減）、身の回り品（同 2.0%減）がいずれも2か月連続で前年実績を下回ったものの、飲食料品（同 2.2%増）が9か月連続、家庭用品（同 0.3%増）が2か月ぶりに前年実績を上回った。

なお、店舗数調整前の前年同月比は 0.4%減となり、2か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

	27年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
販売額（百万円）	36,199	34,836	35,398	34,957	32,396	34,291	33,803	42,800
前年同月比（%）	4.0	▲ 0.7	2.5	2.9	2.0	4.4	▲ 1.3	0.2
うち 百貨店（%）	5.0	▲ 0.3	4.0	3.6	▲ 4.9	7.7	▲ 3.9	▲ 1.5
スーパー（%）	3.8	▲ 0.8	2.1	2.8	3.6	3.6	▲ 0.6	0.7
(参考1) 全国前年同月比（%）	5.3	▲ 0.3	2.1	1.8	1.7	2.9	▲ 1.5	0.0
うち 百貨店（%）	6.3	0.4	3.6	2.7	1.9	4.2	▲ 2.6	0.3
スーパー（%）	4.8	▲ 0.6	1.2	1.4	1.6	2.3	▲ 0.9	▲ 0.2
(参考2) 県前年同月比（店舗数調整前）	2.7	▲ 2.1	1.0	1.8	0.3	3.0	▲ 2.6	▲ 0.4

(注) 販売額は店舗数未調整、前年同月比は店舗数調整済、全月速報値

<資料>経済産業省

<商品別前年同月比の推移>

(単位：%)

	27年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
衣 料 品	6.2	▲ 7.1	2.5	1.2	▲ 7.2	5.5	▲ 8.0	▲ 5.2
うち 紳士服・洋品	7.3	▲ 7.6	5.1	3.3	▲ 7.0	5.4	▲ 9.0	▲ 7.8
婦人・子供服・洋品	5.0	▲ 6.9	1.4	0.3	▲ 7.4	5.0	▲ 7.7	▲ 3.6
身の回り品	2.0	2.6	13.5	7.9	▲ 0.2	8.5	▲ 6.6	▲ 2.0
飲食料品	3.5	0.8	2.2	2.8	4.3	3.7	0.8	2.2
家庭用品	5.7	▲ 0.5	3.5	3.2	▲ 0.5	8.5	▲ 0.1	0.3
うち家庭用電気機械器具	23.7	▲ 7.1	28.1	28.6	14.7	13.9	9.1	29.1

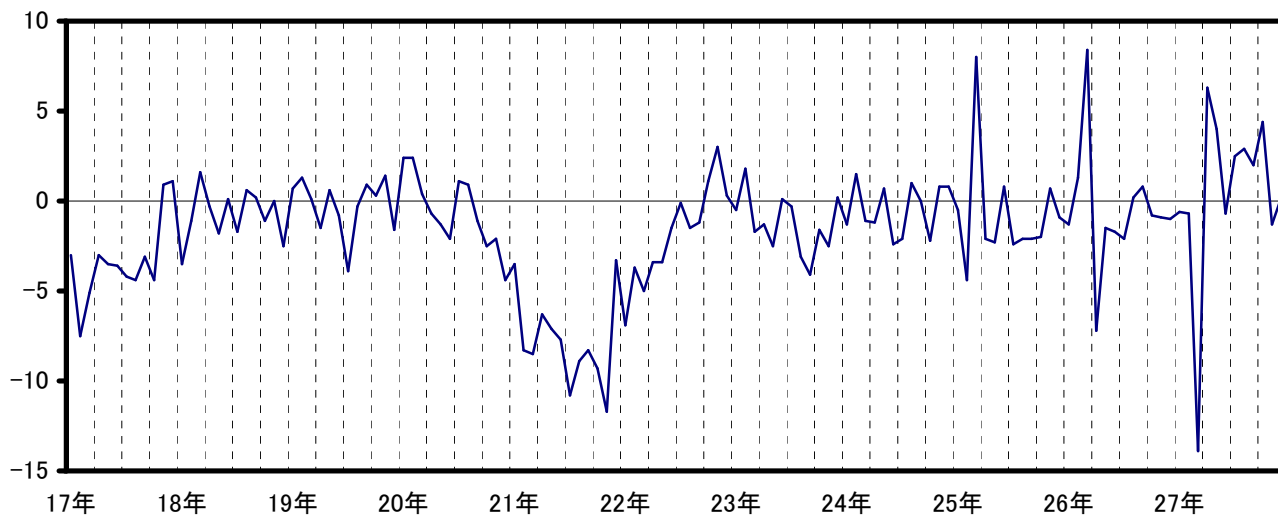
(注) 店舗数調整済、全月速報値

<資料>経済産業省

<過去10年間の推移>

大型小売店販売額前年同月比（%）

<資料>経済産業省



## (2) 百貨店販売額

12月 = 9,026百万円

\*前年同月比： 2.7%減

(県内3百貨店販売額)

### <概況>

12月の県内3百貨店の販売額は9,026百万円で、前年同月比 2.7%減となり、2か月連続で前年実績を下回った。

品目別にみると、食料品(前年同月比 0.7%増)が2か月ぶりに前年実績を上回ったものの、衣料品(同 6.0%減)、身の回り品(同 0.8%減)、家庭用品(同 15.3%減)がいずれも2か月連続、雑貨(同 0.5%減)が9か月ぶりに前年実績を下回った。

### <最近の動き>

	27年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
販売額(百万円)	6,097	6,068	6,976	5,317	5,356	6,365	6,563	9,026
前年同月比(%)	3.6	▲ 1.5	2.8	2.3	▲ 6.0	6.3	▲ 5.2	▲ 2.7
(参考)全国前年同月比(%)	6.3	0.4	3.4	2.7	1.8	4.2	▲ 2.7	0.1

(注)販売額は店舗数未調整、前年同月比は店舗数調整済

<資料>県百貨店協会、日本百貨店協会

### <品目別前年同月比の推移>

(単位：%)

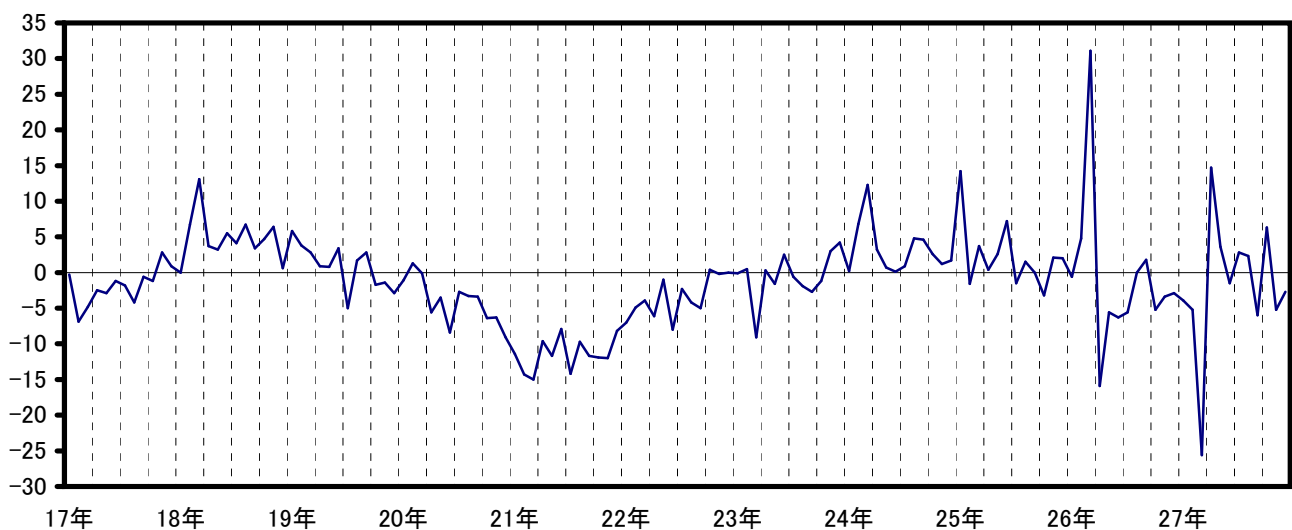
	27年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
衣料品	2.8	▲ 8.6	1.2	▲ 4.9	▲ 13.5	1.8	▲ 12.3	▲ 6.0
うち紳士服・洋品	4.4	▲ 7.4	4.7	▲ 0.5	▲ 14.4	1.5	▲ 15.6	▲ 8.7
婦人服・洋品	1.4	▲ 9.5	0.3	▲ 5.5	▲ 13.6	2.1	▲ 10.8	▲ 4.4
子供服・洋品	1.6	▲ 13.0	1.0	▲ 12.0	▲ 6.1	▲ 2.0	▲ 16.8	▲ 7.3
身の回り品	0.2	1.0	10.0	5.8	▲ 5.4	9.8	▲ 6.1	▲ 0.8
家庭用品	2.1	10.6	▲ 7.1	▲ 9.7	▲ 11.6	15.7	▲ 2.9	▲ 15.3
食料品	1.1	▲ 3.0	0.6	▲ 1.0	▲ 2.3	3.6	▲ 2.4	0.7
雑貨	15.2	14.2	13.7	27.7	8.2	16.9	8.5	▲ 0.5
うち美術・宝飾・貴金属	25.2	18.9	18.7	55.2	24.3	9.7	10.8	▲ 5.8

(注)店舗数調整済

### <過去10年間の推移>

県内百貨店販売額前年同月比(%)

<資料>県百貨店協会



### (3) 自動車(新車)新規登録台数

12月 = 13,192台

\*前年同月比： 6.8%減

(乗用車、軽自動車合計)

#### <概況>

12月の自動車(新車)新規登録台数は13,192台(前年同月比 6.8%減)となり、21か月連続で前年実績を下回った。

車種別にみると、乗用車(同 4.5%増)が4か月ぶりに前年実績を上回ったものの、軽自動車(同 17.9%減)が12か月連続で前年実績を下回った。

#### <最近の動き>

	27年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
登録台数(台)	11,424	14,719	14,211	10,888	15,890	12,880	13,034	13,192
前年同月比(%)	▲ 6.8	▲ 0.3	▲ 6.9	▲ 3.5	▲ 6.0	▲ 2.6	▲ 7.9	▲ 6.8
(参考)全国前年同月比(%)	▲ 8.2	▲ 3.8	▲ 9.1	▲ 3.5	▲ 7.4	▲ 4.0	▲ 7.6	▲ 14.6

<資料>県税務課、日本自動車販売協会連合会

#### <車種別(新車)新規登録台数前年同月比の推移>

(単位：%)

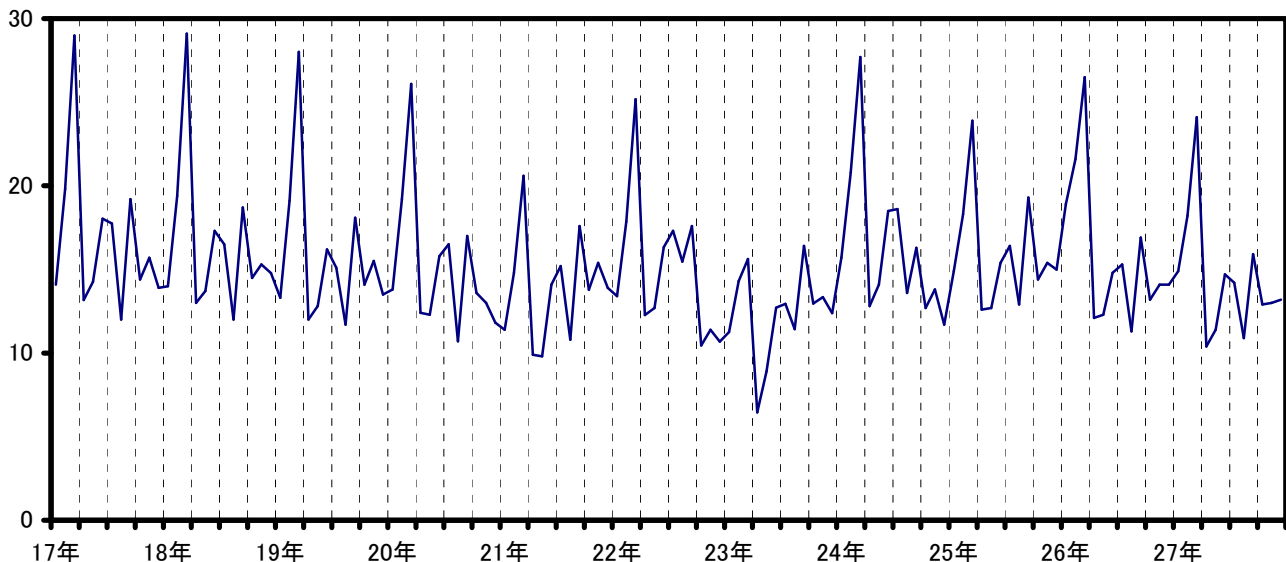
	27年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
全乗用車	▲ 6.8	▲ 0.3	▲ 6.9	▲ 3.5	▲ 6.0	▲ 2.6	▲ 7.9	▲ 6.8
乗用車	2.3	7.7	▲ 3.2	1.5	▲ 2.3	▲ 1.0	▲ 0.2	4.5
軽自動車	▲ 15.7	▲ 8.4	▲ 11.3	▲ 9.2	▲ 10.3	▲ 4.6	▲ 15.6	▲ 17.9

<資料>県税務課

#### <過去10年間の推移>

自動車(新車)新規登録台数(千台)

<資料>県税務課



(注)全国前年同月比は乗用車+軽乗用車



## 2 新設住宅着工戸数

12月 = 1,883戸

\*前年同月比： 0.6%増

### <概況>

12月の新設住宅着工戸数は1,883戸で、前年同月比 0.6%増となり、3か月連続で前年実績を上回った。

利用関係別にみると、持家（前年同月比 1.2%減）、貸家（同 14.6%減）がいずれも3かぶりに前年実績を下回ったものの、分譲住宅（同 31.2%増）が2か月連続で前年実績を上回った。

### <最近の動き>

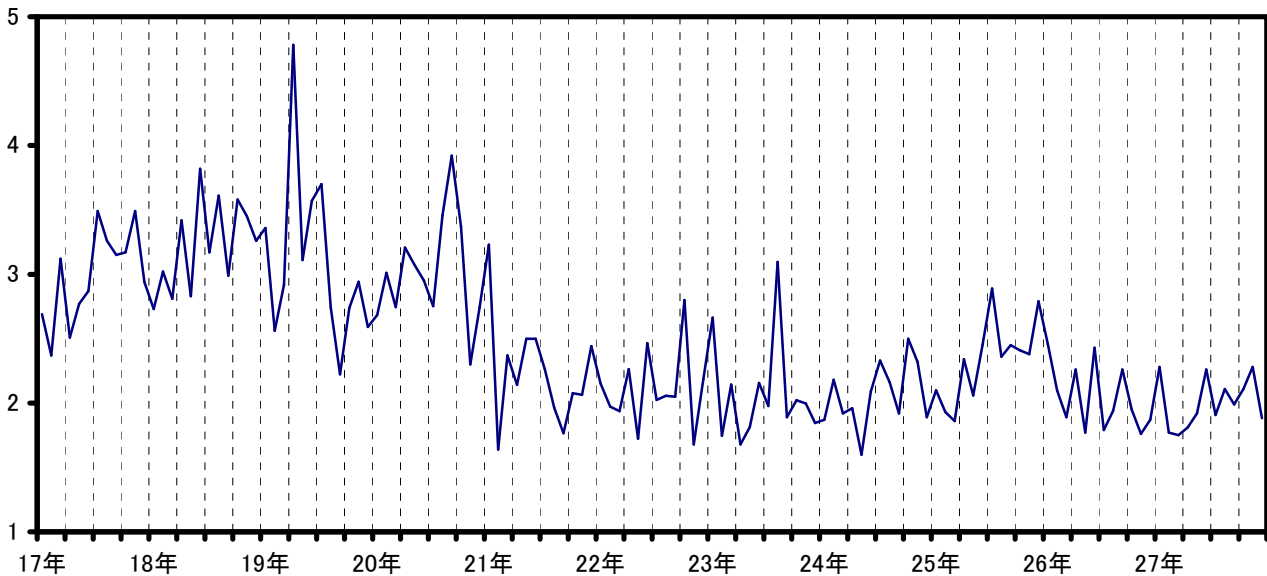
	27年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
戸数（戸）	1,915	2,255	1,908	2,105	1,987	2,114	2,280	1,883
前年同月比（%）	7.9	▲ 7.2	6.4	8.3	▲ 12.1	8.2	29.8	0.6
うち持家（%）	▲ 3.2	18.0	15.9	14.9	▲ 15.4	5.9	24.3	▲ 1.2
貸家（%）	9.6	▲ 33.4	5.2	4.7	▲ 19.2	19.0	44.4	▲ 14.6
分譲住宅（%）	69.1	8.3	▲ 19.3	1.5	7.3	▲ 1.7	17.7	31.2
(参考)全国前年同月比（%）	5.8	16.3	7.4	8.8	2.6	▲ 2.5	1.7	▲ 1.3

<資料>県住まいづくり課

### <過去10年間の推移>

新設住宅着工戸数(千戸)

<資料>県住まいづくり課



### 3 公共工事請負金額

12月 = 15,359百万円

\*前年同月比： 0.6%減

(建設保証会社保証実績)

#### <概況>

12月の公共工事の請負金額(工事場所ベース)は15,359百万円で、前年同月比0.6%減となり、3か月ぶりに前年実績を下回った。また、取扱い件数(工事場所ベース)は805件で、前年同月比7.5%増となり、3か月連続で前年実績を上回った。

#### <最近の動き>

	27年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
金額(百万円)	23,823	24,042	30,155	25,705	34,060	32,163	15,778	15,359
前年同月比(%)	▲31.1	▲21.7	1.5	11.1	▲18.4	52.9	9.2	▲0.6
年度累計前年同月比(%)	▲15.1	▲17.0	▲12.9	▲9.4	▲11.3	▲5.2	▲4.3	▲4.0
件数(件)	363	596	862	792	1,134	940	744	805
前年同月比(%)	▲23.1	▲18.6	▲1.6	11.5	▲13.7	10.1	8.6	7.5
年度累計前年同月比(%)	▲7.5	▲12.5	▲8.7	▲4.2	▲7.0	▲4.3	▲2.8	▲1.7

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店

#### <発注者別請負金額前年同月比の推移>

(単位：%)

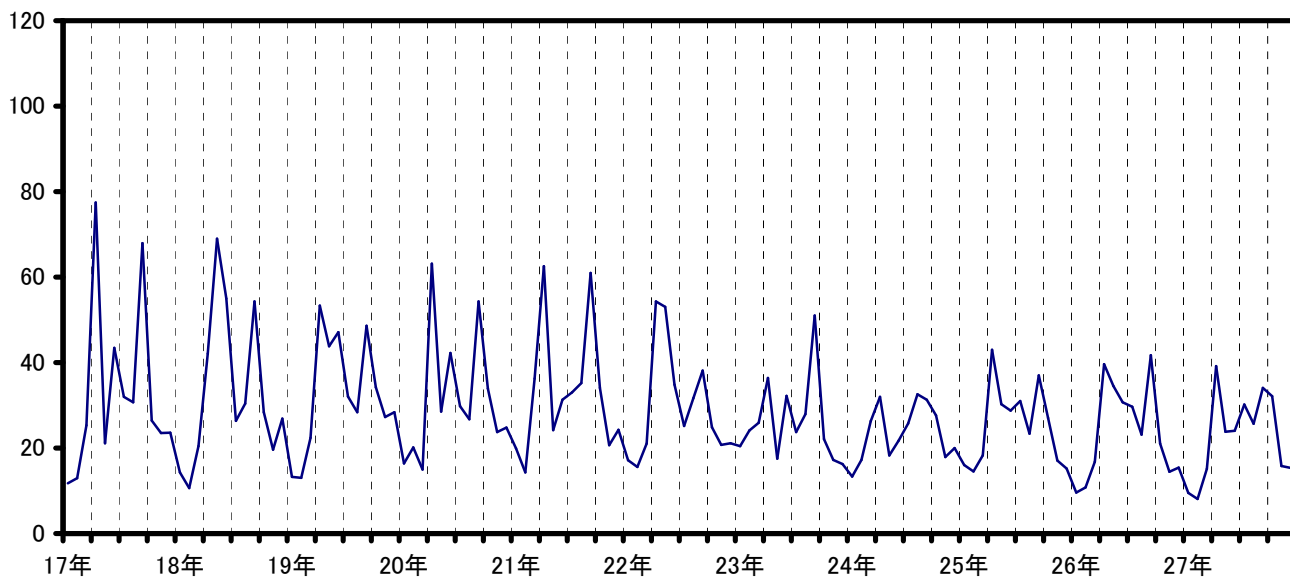
	27年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
国	▲47.6	▲6.9	17.6	▲57.7	▲43.1	15.6	▲47.4	8.4
独立行政法人等	▲1.5	148.1	▲47.6	44.8	▲59.0	549.5	▲71.2	▲11.0
県	▲57.2	▲6.8	20.8	4.4	▲23.2	27.3	24.3	17.4
市町	23.4	▲30.2	▲13.2	35.6	▲5.7	37.2	27.3	▲0.5
地方公社	—	▲91.8	—	427.1	123.9	166.0	—	218.8
その他	▲49.4	▲63.7	93.9	59.6	15.9	355.4	4.2	▲46.1

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店

#### <過去10年間の推移>

公共工事請負金額(十億円)

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店



## 4 設備投資

### <概況>

平成26年度の設備投資（実績）は、製造業（前年度比 13.8%増）で増加、非製造業（同 3.2%減）では減少となり、全産業（同 4.6%増）では増加となった。

平成27年度の設備投資（計画）は、製造業（前年度比 28.9%増）、非製造業（同 9.2%増）でも増加する計画となっており、全産業（同 19.1%増）でも増加する計画となっている。

12月の着工建築物床面積（非居住用）は86,797㎡で、前年同月比 16.9%減となり、13か月連続で前年実績を下回った。

### <企業短期経済観測調査結果>

（前年度比%）

		26年度 （実績）	27年度 （計画）	前回調査 比修正率	上期	前回調査 比修正率	下期 （計画）	前回調査 比修正率	
全 産 業	県	4.6	19.1	▲ 1.9	13.1	▲ 9.3	23.9	4.3	
	全国	4.3	7.8	1.3	4.8	▲ 6.4	10.1	7.9	
	製 造 業	県	13.8	28.9	▲ 3.4	21.1	▲ 16.8	34.2	7.5
		全国	6.8	12.2	▲ 1.1	7.0	▲ 10.5	16.4	7.0
	非 製 造 業	県	▲ 3.2	9.2	▲ 0.1	6.3	▲ 0.4	12.0	0.2
		全国	3.1	5.6	2.7	3.7	▲ 4.2	7.0	8.4

<資料>日本銀行静岡支店「静岡県の企業短期経済観測調査結果（平成27年12月調査）」

日本銀行調査統計局「全国企業短期経済観測調査」（平成27年12月調査）」

### <最近の動き>

	27年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
着工建築物床面積（非居住用）（㎡）	99,993	132,924	97,942	90,364	126,652	143,311	110,179	86,797
前年同月比（%）	▲ 21.3	▲ 24.3	▲ 30.6	▲ 10.1	▲ 33.3	▲ 17.6	▲ 29.4	▲ 16.9
（参考）全国前年同月比（%）	4.1	▲ 11.3	0.9	▲ 7.6	▲ 2.0	▲ 22.1	▲ 6.8	6.7

（注）着工建築物床面積は公共と民間の合計のうち、非居住用

<資料>国土交通省

### <参考 県内企業の業況判断D. I. >

	27年9月	27年12月	28年3月 （予測）
全 産 業	6	7	1
製 造 業	5	5	1
非 製 造 業	5	9	1
（参考） 全国 ・ 全産業	8	9	3

（注）業況判断D. I. : 「良い」-「悪い」回答社数構成比%ポイント

<資料> 日本銀行静岡支店「静岡県の企業短期経済観測調査結果（平成27年12月調査）」

## 5 輸出

12月 = 179,514百万円

\*前年同月比： 5.7%減

(清水税関支署管内通関実績)

### <概況>

12月の清水税関支署管内の輸出総額は179,514百万円で、前年同月比 5.7%減となり、3か月連続で前年実績を下回った。

主要な品目別にみると、原動機（前年同月比 7.3%増）が7か月連続、エアコン（同 22.9%増）が2か月連続、科学光学機器（同 21.4%増）が10か月連続で前年実績を上回ったものの、自動車（同 19.2%減）が8か月連続、自動車の部分品（同 3.9%減）が5か月連続、二輪自動車類（同 27.2%減）が4か月連続で前年実績を下回った。

地域別にみると、EU向け（同 17.4%増）が7か月連続で前年実績を上回ったものの、アジア向け（同 1.4%減）が3か月ぶり、米国向け（同 20.7%減）が3か月連続で前年実績を下回った。

### <最近の動き>

	27年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
輸出総額(百万円)	146,515	169,073	182,005	159,175	169,382	172,315	154,191	179,514
前年同月比(%)	▲ 8.7	6.9	4.3	2.9	0.4	▲ 1.9	▲ 5.1	▲ 5.7

<資料>清水税関支署

### <主要品目別前年同月比の推移>

(単位:%)

	27年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
原動機	▲ 8.3	18.1	27.5	32.4	30.6	19.0	10.4	7.3
エアコン	▲ 33.4	▲ 19.9	▲ 23.6	▲ 16.0	▲ 13.9	▲ 15.5	20.4	22.9
自動車	▲ 15.9	▲ 8.6	▲ 18.3	▲ 29.9	▲ 44.8	▲ 25.0	▲ 29.2	▲ 19.2
自動車の部分品	▲ 7.5	11.7	5.7	▲ 10.7	▲ 12.3	▲ 10.3	▲ 4.4	▲ 3.9
二輪自動車類	6.0	21.3	▲ 11.5	10.7	▲ 19.8	▲ 24.2	▲ 37.1	▲ 27.2
科学光学機器	43.3	33.1	56.7	43.7	43.2	41.1	48.5	21.4

<資料>清水税関支署

### <地域別前年同月比の推移>

(単位:%)

	27年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
アジア	▲ 2.1	4.4	8.7	▲ 4.0	▲ 0.2	0.1	0.2	▲ 1.4
米国	▲ 5.8	5.4	▲ 1.3	1.8	2.6	▲ 4.8	▲ 7.0	▲ 20.7
EU	▲ 11.5	16.5	11.2	21.3	13.3	18.1	0.3	17.4

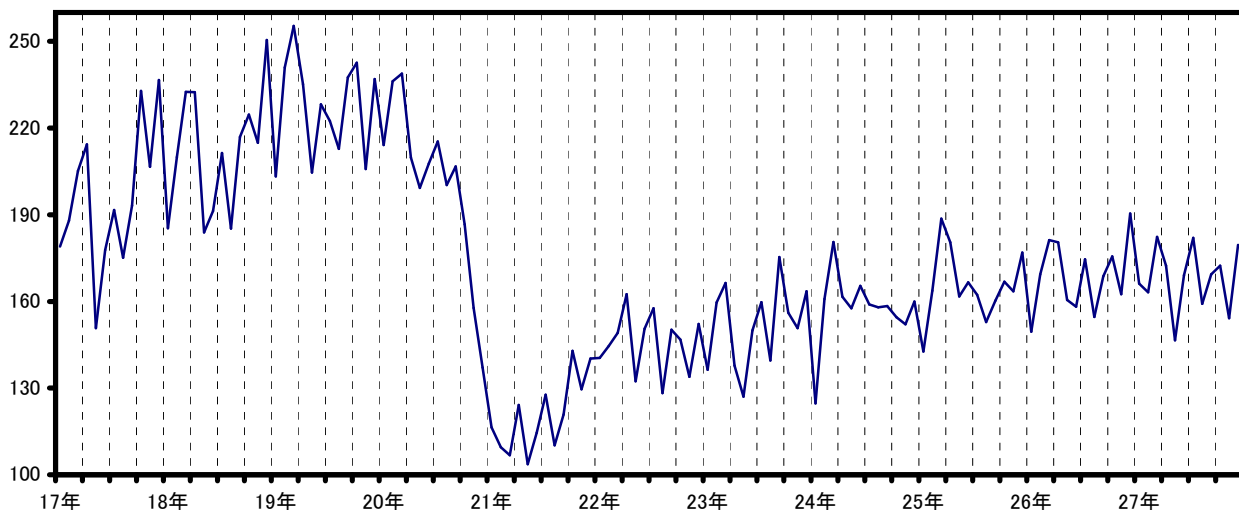
<資料>清水税関支署

(注) 管内とは、清水港(焼津、沼津、浜松、興津の各出張所及び下田監視所含む)、田子の浦港、御前崎港、静岡空港の4つをいう。なお、数値は、通関手続きが行われた金額である。輸入も同様。

### <過去10年間の推移>

清水税関支署管内通関実績輸出額(十億円)

<資料>清水税関支署



## 6 輸入

12月 = 78,384百万円

\*前年同月比： 18.3%減

(清水税関支署管内通関実績)

### <概況>

12月の清水税関支署管内の輸入総額は78,384百万円で、前年同月比 18.3%減となり、2か月ぶりに前年実績を下回った。

主要な品目別にみると、木材（前年同月比 21.6%増）が8か月ぶり、パルプ（同 10.5%増）が3か月連続、紙類及び同製品（同 32.2%増）が2か月連続で前年実績を上回ったものの、魚介類（同 0.1%減）が3か月連続、原動機（同 27.1%減）が2か月ぶり、自動車の部分品（同 1.5%減）が2か月連続で前年実績を下回った。

地域別では、EUから（同 8.5%増）が2か月連続で前年実績を上回ったものの、アジアから（同 8.7%減）、米国から（同 33.1%減）がいずれも3か月ぶりに前年実績を下回った。

### <最近の動き>

	27年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
輸入総額(百万円)	79,568	81,813	86,311	78,819	81,507	84,991	81,597	78,384
前年同月比(%)	▲2.4	▲6.4	6.5	0.1	▲7.8	▲3.8	8.1	▲18.3

<資料>清水税関支署

### <主要品目別前年同月比の推移>

(単位:%)

	27年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
魚介類	17.8	3.1	▲2.7	▲3.9	7.9	▲18.1	▲1.0	▲0.1
木材	▲12.8	▲26.1	▲17.3	▲6.8	▲14.2	▲35.8	▲5.2	21.6
パルプ	▲21.1	23.1	5.7	61.5	▲26.2	22.5	35.4	10.5
紙類及び同製品	▲11.8	▲17.1	19.5	7.4	▲17.7	▲5.1	23.9	32.2
原動機	▲67.0	▲68.2	9.4	▲0.2	17.8	▲10.9	0.0	▲27.1
自動車の部分品	14.8	2.8	▲5.1	▲26.3	▲12.0	12.6	▲18.6	▲1.5

<資料>清水税関支署

### <地域別前年同月比の推移>

(単位:%)

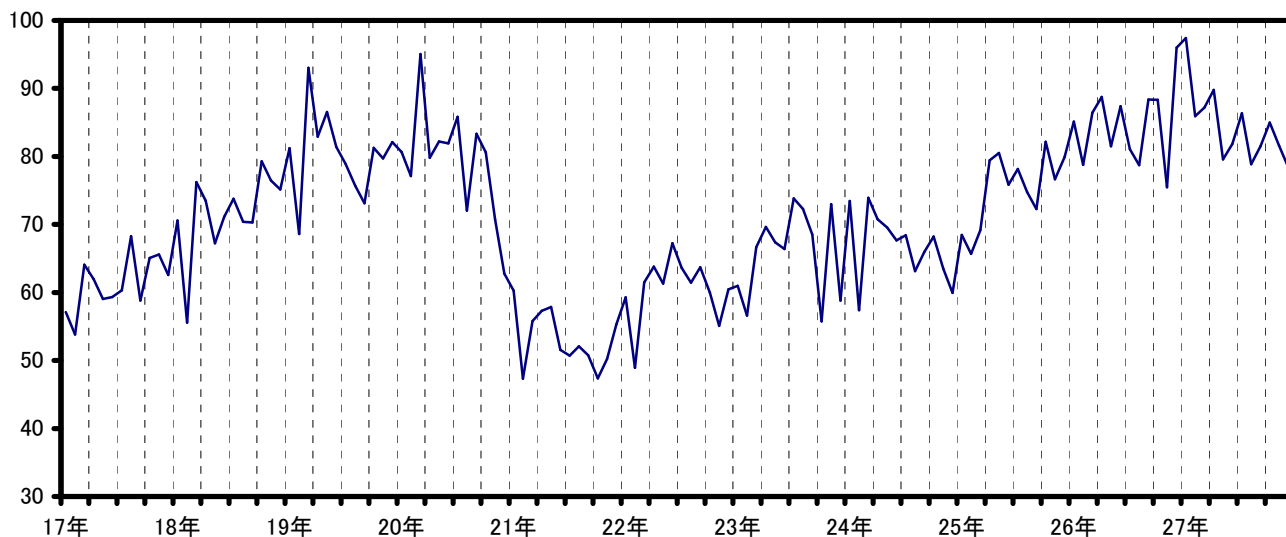
	27年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
アジア	▲5.7	▲8.2	11.4	5.7	▲12.0	4.8	2.6	▲8.7
米国	▲1.4	23.1	36.1	4.0	▲26.0	41.5	80.8	▲33.1
EU	18.7	3.6	▲10.0	▲7.3	▲8.8	▲19.8	2.3	8.5

<資料>清水税関支署

### <過去10年間の推移>

清水税関支署管内通関実績輸入額(十億円)

<資料>清水税関支署



# 生 産 面

## 1 生 産

### (1) 産業用大口電力消費量

12月 = 919,418千kWh

\*前年同月比 5.0%減

(東京電力、中部電力合計)

#### <概 況>

12月の産業用大口電力消費量は919,418千kWhで、前年同月比 5.0%減となり、17か月連続で前年実績を下回った。

産業別にみると、電気機械（前年同月比 1.8%増）、食品（同 2.6%増）がいずれも2か月連続で前年実績を上回ったものの、一般機械（同 7.9%減）が17か月連続、輸送機械（同 10.6%減）が12か月連続、化学（同 0.1%減）が2か月ぶり、パルプ・紙・紙加工品（同 4.9%減）が14か月連続で前年実績を下回った。

#### <最近の動き>

	27年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
消費量(千kWh)	931,767	1,012,146	1,078,696	974,589	1,020,566	996,563	958,512	919,418
前年同月比(%)	▲ 5.7	▲ 4.0	▲ 3.8	▲ 2.3	▲ 2.8	▲ 4.1	▲ 2.6	▲ 5.0
全国10社前年同月比(%)	▲ 3.3	▲ 2.8	▲ 1.7	▲ 2.0	▲ 3.3	▲ 3.6	▲ 2.6	▲ 4.5

\*産業用大口電力消費量=契約電力 500kW以上

<資料>東京電力、中部電力、電気事業連合会

#### <県内産業別大口電力消費量前年同月比の推移>

(単位：%)

	27年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
一般機械工業	▲ 3.0	▲ 5.8	▲ 7.4	▲ 1.0	▲ 1.3	▲ 5.0	▲ 1.5	▲ 7.9
電気機械工業	▲ 2.6	▲ 0.8	▲ 0.7	2.5	0.8	▲ 0.7	2.9	1.8
輸送機械工業	▲ 7.8	▲ 5.2	▲ 6.0	▲ 6.5	▲ 5.1	▲ 7.5	▲ 5.2	▲ 10.6
化学工業	▲ 12.2	▲ 4.8	▲ 1.0	0.4	▲ 1.2	▲ 2.3	1.9	▲ 0.1
パルプ・紙・紙加工品工業	▲ 10.1	▲ 11.3	▲ 11.3	▲ 6.5	▲ 8.6	▲ 9.9	▲ 7.2	▲ 4.9
食品工業	0.3	0.9	3.4	3.3	3.3	▲ 0.1	5.6	2.6

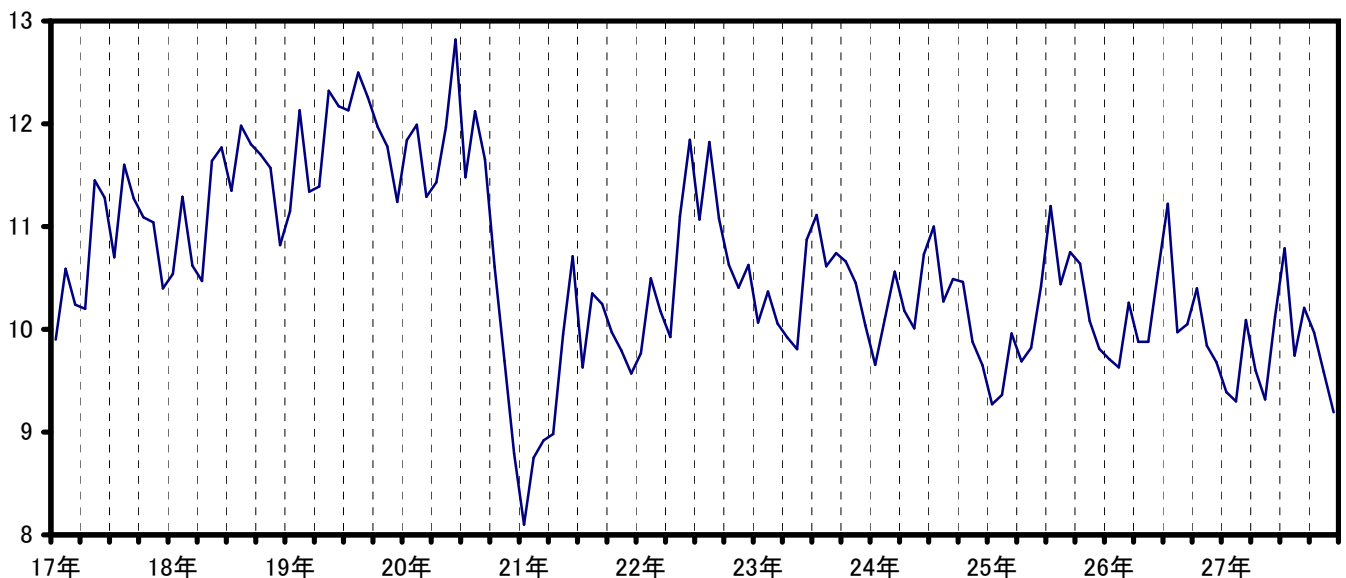
\*産業用大口電力消費量=契約電力 500kW以上

<資料>東京電力、中部電力

#### <過去10年間の推移>

産業用大口電力消費量(億kWh)

<資料>東京電力、中部電力



(2) 鋳工業生産指数

11月 = 90.2

(平成22年=100、鋳工業総合、季節調整済指数)

\*前月比(季節調整済指数) : 0.1%増

\*前年同月比(原指数) : 0.3%増

<概況>

11月の鋳工業生産指数(総合)は90.2(季節調整済指数)で、前月比0.1%増となり、2か月ぶりに前月を上回った。また、前年同月比(原指数)は0.3%増と5か月ぶりに前年水準を上回った。

業種別にみると、輸送機械(前年同月比13.1%減)が9か月連続、パルプ・紙・紙加工品(同0.6%減)が2か月連続で前年水準を下回ったものの、はん用・生産用・業務用機械(同12.4%増)が5か月ぶり、電気機械(同7.7%増)、食料品・たばこ(同3.2%増)がいずれも2か月ぶり、化学(同15.5%増)が6か月連続で前年水準を上回った。

<最近の動き>

	27年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
指数	95.3	93.2	92.7	90.0	89.9	90.3	90.1	90.2
前月比(%)	▲3.4	▲2.2	▲0.5	▲2.9	▲0.1	0.4	▲0.2	0.1
前年同月比(%)	▲1.7	▲4.2	0.5	▲3.9	▲1.9	▲2.1	▲4.6	0.3
(参考)全国前年同月比(%)	▲0.1	▲4.0	2.0	0.2	0.2	▲0.9	▲1.4	1.6

(注)平成22年=100、鋳工業総合、指数:季節調整済、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課、経済産業省

<県内業種別鋳工業生産指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	27年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
はん用・生産用・業務用機械工業	4.3	▲5.4	10.4	▲10.8	▲3.8	▲9.7	▲0.1	12.4
電気機械工業	2.3	▲4.2	2.4	▲4.2	▲4.8	3.5	▲2.0	7.7
輸送機械工業	▲4.6	▲16.0	▲10.5	▲11.0	▲10.7	▲11.4	▲16.2	▲13.1
化学工業	▲1.6	▲5.2	11.1	7.9	13.5	9.7	10.7	15.5
パルプ・紙・紙加工品工業	▲3.4	▲8.2	0.3	▲6.0	3.3	1.1	▲1.0	▲0.6
食料品・たばこ工業	▲3.0	23.2	8.3	7.5	9.7	10.4	▲1.1	3.2

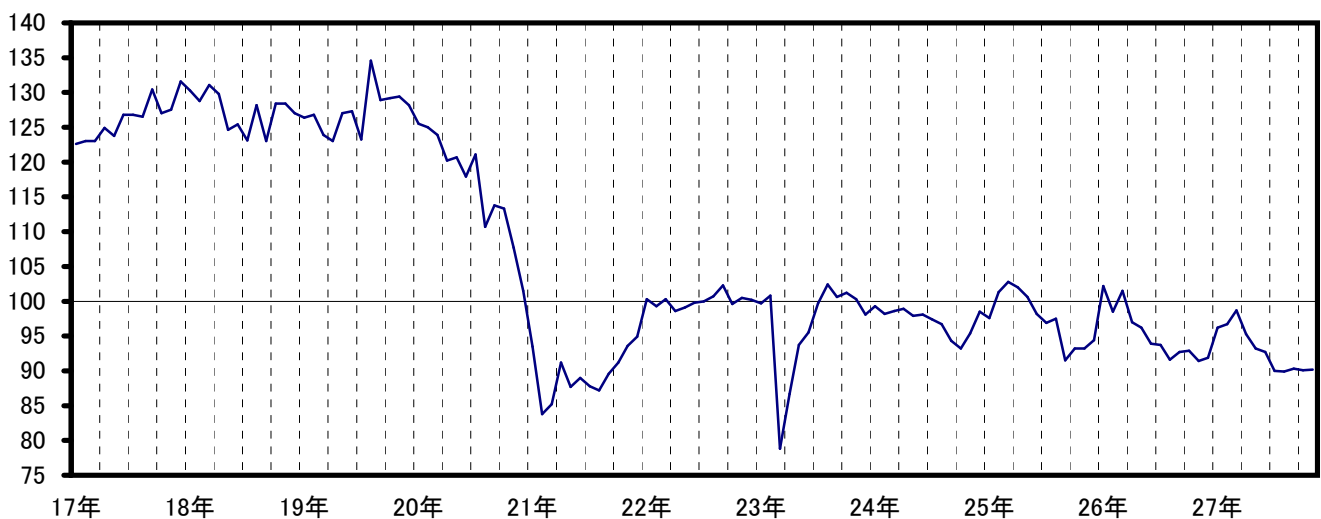
(注)平成22年=100、鋳工業総合、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<過去10年間の推移>

鋳工業生産指数(総合、平成22年=100)

<資料>県統計調査課



### (3) 鉱工業在庫指数

11月 = 119.6

(平成22年=100、鉱工業総合、季節調整済指数)

\*前月比(季節調整済指数) : 0.7%減

\*前年同月比(原指数) : 16.4%増

#### <概況>

11月の鉱工業在庫指数(総合)は119.6(季節調整済指数)で、前月比は0.7%減と4か月ぶりに前月を下回った。また、前年同月比(原指数)は16.4%増と9か月連続で前年水準を上回った。なお、在庫動向を在庫循環図でみると、今月は「在庫調整局面(景気後退期)」に該当する。

業種別にみると、はん用・生産用・業務用機械(前年同月比6.9%減)が8か月連続で前年水準を下回ったものの、電気機械(同25.7%増)が23か月連続、輸送機械(同113.3%増)が10か月連続、化学(同9.8%増)が4か月連続、パルプ・紙・紙加工品(同6.4%増)が3か月連続、食料品・たばこ(同6.5%増)が2か月連続で前年水準を上回った。

#### <最近の動き>

	27年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
指数	112.7	111.6	118.9	115.2	116.6	116.8	120.4	119.6
前月比(%)	0.4	▲1.0	6.5	▲3.1	1.2	0.2	3.1	▲0.7
前年同月比(%)	10.8	3.6	5.9	5.3	8.2	11.3	16.1	16.4
(参考)全国前年同月比(%)	6.3	3.9	3.9	2.7	2.2	2.0	0.2	▲0.5

(注)平成22年=100、鉱工業総合、指数:季節調整済、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課、経済産業省

#### <県内業種別鉱工業在庫指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	27年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
はん用・生産用・業務用機械工業	▲0.6	▲6.2	▲2.0	▲8.0	▲1.7	▲7.0	▲5.4	▲6.9
電気機械工業	32.3	29.8	29.6	20.5	16.9	26.0	17.1	25.7
輸送機械工業	82.5	20.7	25.9	57.9	73.6	104.6	114.2	113.3
化学工業	4.2	▲6.8	▲6.8	▲6.6	3.5	10.0	17.6	9.8
パルプ・紙・紙加工品工業	7.9	1.8	0.0	▲3.4	▲0.3	3.0	6.1	6.4
食料品・たばこ工業	23.1	7.3	5.5	6.9	▲1.8	▲7.9	3.2	6.5

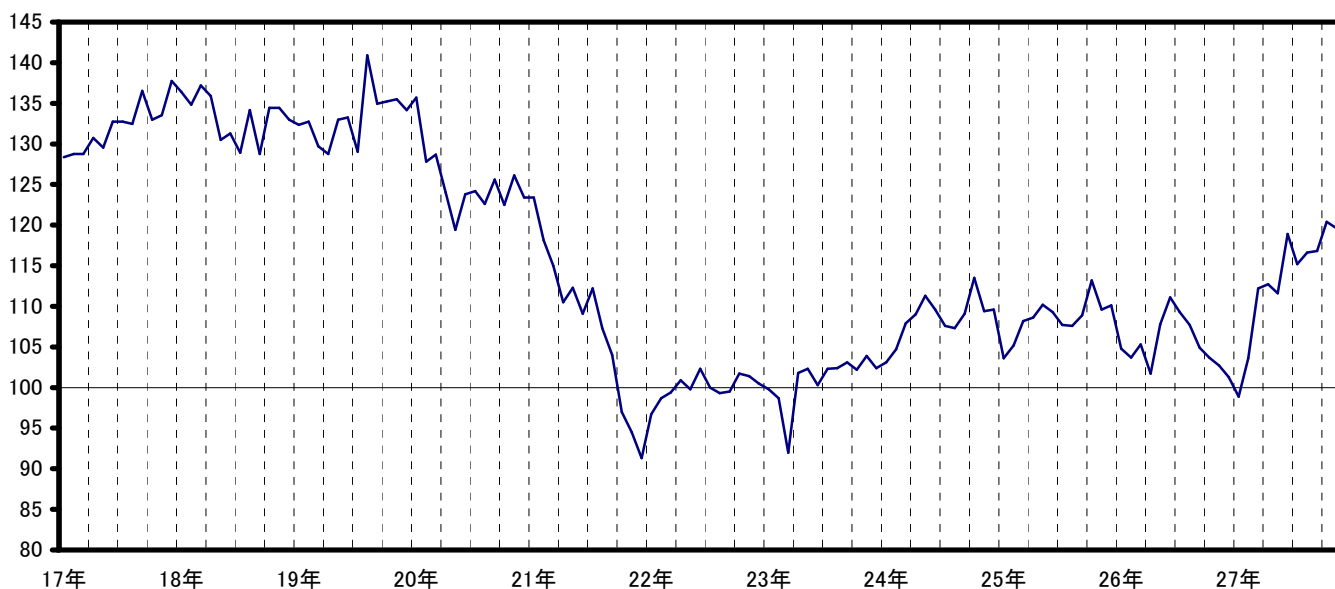
(注)平成22年=100、鉱工業総合、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

#### <過去10年間の推移>

鉱工業在庫指数(総合、平成22年=100)

<資料>県統計調査課





# 雇 用 面

## 1 雇 用

### (1) 有効求人倍率

**12月 = 1.28倍**

\*前月比(季節調整値) : 0.03ポイント増

(季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む)

#### <概況>

12月の有効求人倍率(季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む)は1.28倍となり、前月を0.03ポイント上回った。また、14か月ぶりに全国値を上回った。

新規求人(学卒、パートタイムを除く)(前年同月比6.5%増)は2か月連続で前年実績を上回った。

これを産業別にみると、情報通信業(同15.8%減)、医療・福祉(同10.0%減)で前年実績を下回ったものの、建設業(同14.1%増)、製造業(同4.6%増)、運輸業・郵便業(同13.3%増)、卸売業・小売業(同17.5%増)、サービス業(他に分類されないもの)(同24.8%増)で前年実績を上回った。

#### <最近の動き>

(単位:倍)

	27年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
県	1.15	1.16	1.16	1.18	1.19	1.24	1.25	1.28
全 国	1.19	1.19	1.21	1.23	1.24	1.24	1.25	1.27

(注)季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む

<資料>厚生労働省

#### <産業別新規求人前年同月比の推移>

(単位:%)

	27年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
建 設 業	▲ 5.2	15.5	7.1	0.1	10.7	2.4	2.0	14.1
製 造 業	▲ 6.5	▲ 2.7	10.5	3.5	▲ 3.2	▲ 0.7	6.7	4.6
情 報 通 信 業	▲ 9.4	▲ 18.1	9.8	17.5	1.8	21.4	▲ 17.2	▲ 15.8
運 輸 業 ・ 郵 便 業	▲ 17.4	1.3	▲ 3.2	▲ 9.7	3.8	5.1	0.8	13.3
卸 売 業 ・ 小 売 業	11.5	33.9	1.4	▲ 28.4	▲ 2.1	▲ 1.3	10.5	17.5
医 療 ・ 福 祉	9.9	0.8	▲ 16.6	13.1	▲ 6.5	▲ 12.5	▲ 2.2	▲ 10.0
サービス業(他に分類されないもの)	▲ 17.3	16.1	7.5	2.9	20.4	11.5	0.3	24.8
合 計	▲ 3.3	5.7	▲ 2.3	0.4	3.5	▲ 1.2	3.2	6.5

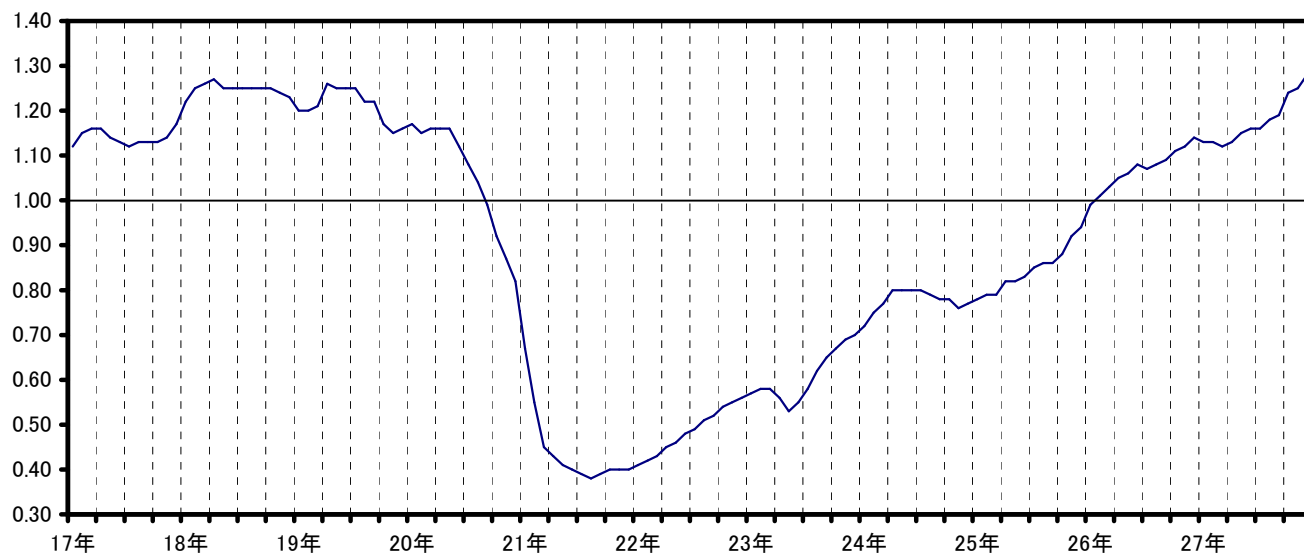
(注)学卒、パートタイムを除く

<資料>厚生労働省

#### <過去10年間の推移>

有効求人倍率(学卒を除き、パートタイムを含む)(倍)

<資料>厚生労働省



(2) 雇用保険受給者実人員

12月 = 12,320人

\*前月比: 5.2%減

\*前年同月比: 11.0%減

<概況>

12月の雇用保険受給者実人員は12,320人で、前月比は5.2%減と5か月連続で前月を下回った。また、前年同月比は11.0%減と29か月連続で前年実績を下回った。

完全失業率(全国)は3.3%で、前月と同水準だった。

静岡県(平成27年7~9月)の完全失業率は2.7%で、前期(27年4~6月)と同水準だった。

<最近の動き>

	27年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
実人員(人)	13,771	14,561	14,967	14,815	14,542	13,753	12,991	12,320
前月比(%)	8.0	5.7	2.8	▲1.0	▲1.8	▲5.4	▲5.5	▲5.2
前年同月比(%)	▲8.7	▲4.7	▲5.4	▲5.1	▲6.4	▲12.1	▲8.3	▲11.0
(参考)全国前年同月比(%)	▲12.6	▲5.8	▲8.2	▲5.9	▲7.1	▲7.3	▲3.4	▲6.3

<資料>厚生労働省

<参考 完全失業率(全国)の推移>

	27年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
完全失業率(全国)(%)	3.3	3.4	3.3	3.4	3.4	3.1	3.3	3.3

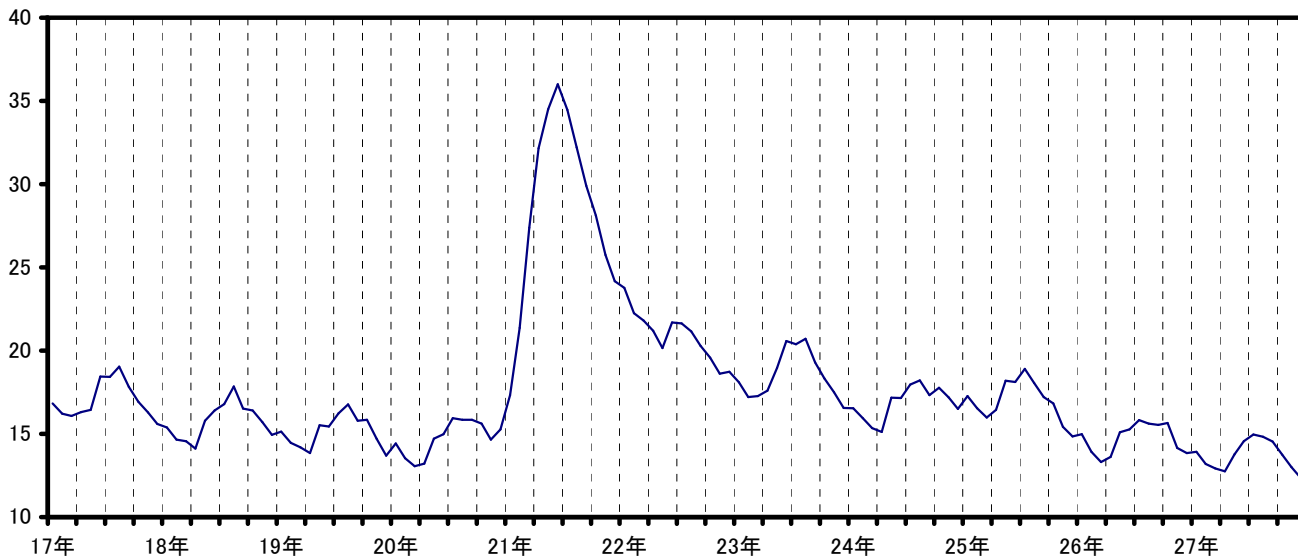
(注)季節調整値

<資料>総務省統計局

<過去10年間の推移>

雇用保険受給者実人員(千人)

<資料>厚生労働省



### (3) 所定外労働時間指数

11月 = 113.0

\*前月比(季節調整済指数): 0.6%減

(平成22年=100、事業所規模30人以上、調査産業計、季節調整済) \*前年同月比(原指数) : 5.1%増

#### <概況>

11月の所定外労働時間指数(事業所規模30人以上、調査産業計)は113.0(季節調整済指数)で、前月比0.6%減となった。また、前年同月比(原指数)は5.1%増となり、3か月連続で前年水準を上回った。

業種別にみると、卸売業・小売業(前年同月比4.1%減)が10か月連続で前年水準を下回ったものの、建設業(同8.6%増)が3か月連続、製造業(同9.1%増)が7か月連続、情報通信業(同59.3%増)が8か月連続、運輸業・郵便業(同1.4%増)が3か月ぶり、医療・福祉(同38.4%増)が2か月連続、その他サービス業(同2.6%増)が2か月に前年水準を上回った。

#### <最近の動き>

	27年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
指数	107.4	102.0	106.1	104.5	104.7	111.8	113.7	113.0
前月比(%)	▲3.8	▲5.0	4.0	▲1.5	0.2	6.8	1.7	▲0.6
前年同月比(%)	▲1.1	▲1.8	0.3	4.1	▲2.1	2.8	6.3	5.1
(参考)全国前年同月比(%)	▲1.2	▲1.2	0.3	▲0.5	0.2	1.0	0.0	0.8

\*平成22年=100、事業所規模30人以上、調査産業計、指数:季節調整済指数、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

#### <県内業種別所定外労働時間指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	27年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
建設業	50.3	▲18.0	2.1	▲7.1	▲21.1	9.9	8.8	8.6
製造業	▲2.4	1.5	3.0	6.6	6.7	6.3	11.2	9.1
情報通信業	46.6	1.4	41.1	69.3	7.9	23.4	10.3	59.3
運輸業・郵便業	▲2.4	▲4.4	10.8	▲6.4	0.4	▲9.1	▲1.0	1.4
卸売業・小売業	▲19.4	▲13.0	▲9.7	▲18.0	▲12.6	▲13.0	▲7.1	▲4.1
医療・福祉	▲1.3	▲1.1	▲4.3	18.0	20.1	▲7.6	36.7	38.4
その他のサービス業	▲8.7	▲5.4	▲24.0	▲14.1	▲23.0	15.9	▲9.0	2.6
調査産業計	▲1.1	▲1.8	0.3	4.1	▲2.1	2.8	6.3	5.1

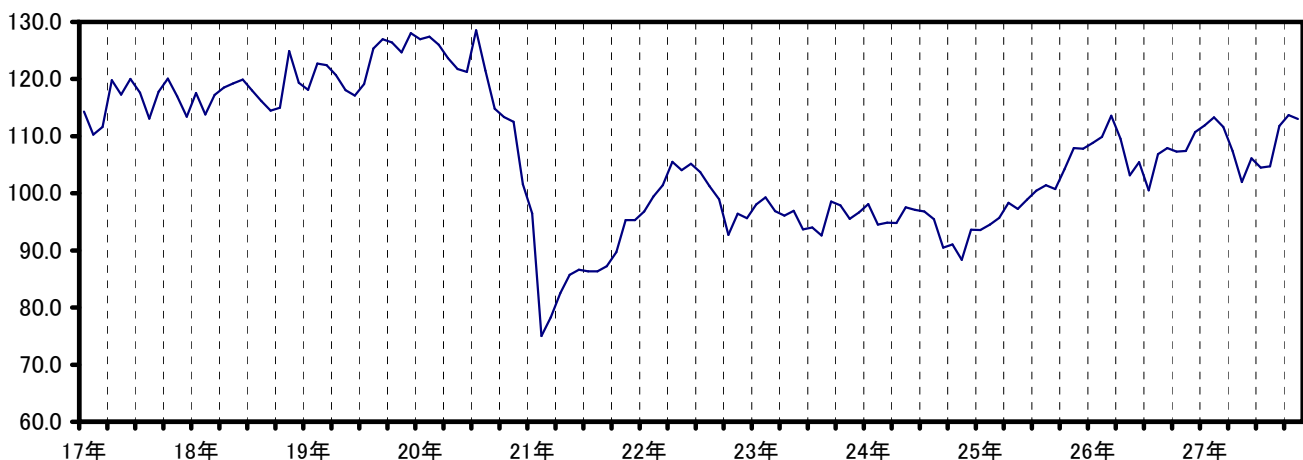
\*平成22年=100、事業所規模30人以上、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

#### <過去10年間の推移>

所定外労働時間指数(事業所規模30人以上、平成22年=100)

<資料>県統計調査課



## そ の 他

### 1 物 価

#### (1) 国内企業物価指数

1 月 = 100.1

\*前 月 比: 0.9%下落

\*前年同月比: 3.1%下落

(平成22年=100)

<概 況>

1月の国内企業物価指数は100.1となり、前月比は0.9%の下落となった。また、前年同月比は3.1%の下落となった。

<最近の動き>

	27年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	28年1月
国内企業物価指数	103.6	103.4	102.7	102.1	101.5	101.4	101.0	100.1
前 月 比 (%)	▲ 0.2	▲ 0.3	▲ 0.6	▲ 0.6	▲ 0.6	▲ 0.1	▲ 0.4	▲ 0.9
前年同月比 (%)	▲ 2.4	▲ 3.1	▲ 3.6	▲ 4.0	▲ 3.8	▲ 3.6	▲ 3.5	▲ 3.1

\*平成22年=100

<資料>日本銀行

#### (2) 消費者物価指数(総合)

1 月 = 102.8

\*前 月 比: 0.3%下落

\*前年同月比: 0.1%下落

(平成22年=100)

<概 況>

1月の消費者物価指数(総合)は102.8となり、前月比は0.3%の下落となった。また、前年同月比は0.1%の下落となった。

<最近の動き>

	27年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	28年1月
消費者物価指数	103.8	103.5	103.7	103.8	103.5	103.1	103.1	102.8
前 月 比 (%)	▲ 0.2	▲ 0.3	0.2	0.1	▲ 0.3	▲ 0.4	0.0	▲ 0.3
前年同月比 (%)	0.3	▲ 0.1	0.0	▲ 0.1	0.1	0.1	0.2	▲ 0.1

\*平成22年=100

<資料>県統計調査課

### 2 金 融

#### (1) 県内金融機関貸出残高

12 月 = 137,340億円

\*前 月 比: 2.5%増

\*前年同月比: 2.8%増

(銀行、信用金庫)

<概 況>

12月末の県内の銀行と信用金庫の貸出残高は137,340億円で、前月比は2.5%増、前年同月比は2.8%増となった。

	27年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
貸出残高(億円)	132,694	132,695	132,387	132,356	134,850	133,704	134,046	137,340
前 月 比 (%)	0.0	0.0	▲ 0.2	0.0	1.9	▲ 0.8	0.3	2.5
前年同月比 (%)	2.6	1.9	1.5	1.4	1.6	2.0	1.7	2.8

<資料>日本銀行静岡支店

#### (2) 貸出約定金利

12 月 = 2.150%

\*前 月 差: 0.018ポイント減

\*前年同月差: 0.032ポイント増

(県内地銀4行総平均)

<概 況>

12月の県内地銀4行総平均の貸出約定金利(総合)は2.150%で、前月から0.018ポイントのマイナスとなった。なお、前年同月差は0.032ポイントのプラスとなった。

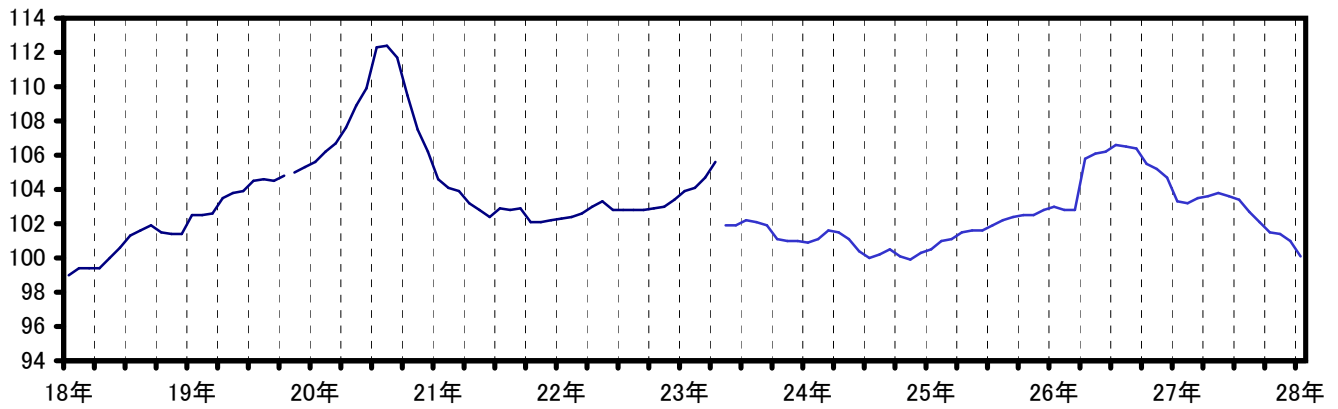
	27年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
貸出約定金利(%)	2.137	2.153	2.159	2.162	2.148	2.166	2.168	2.150
前月差(ポイント)	0.000	0.016	0.006	0.003	▲ 0.014	0.018	0.002	▲ 0.018
前年同月差(ポイント)	0.044	0.077	0.067	0.050	0.039	0.042	0.042	0.032

<資料>日本銀行静岡支店

<過去10年間の推移>

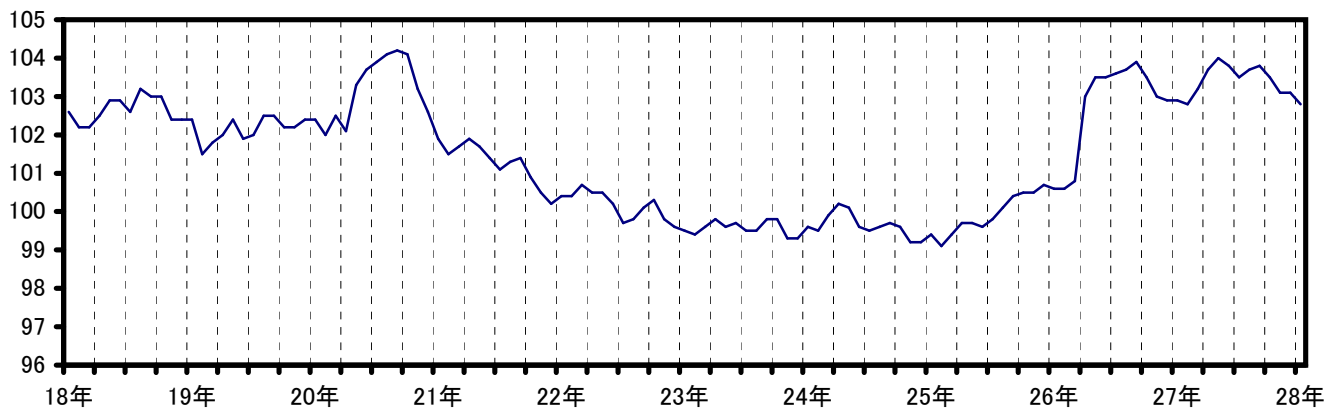
国内企業物価指数(平成22年=100)

<資料>日本銀行



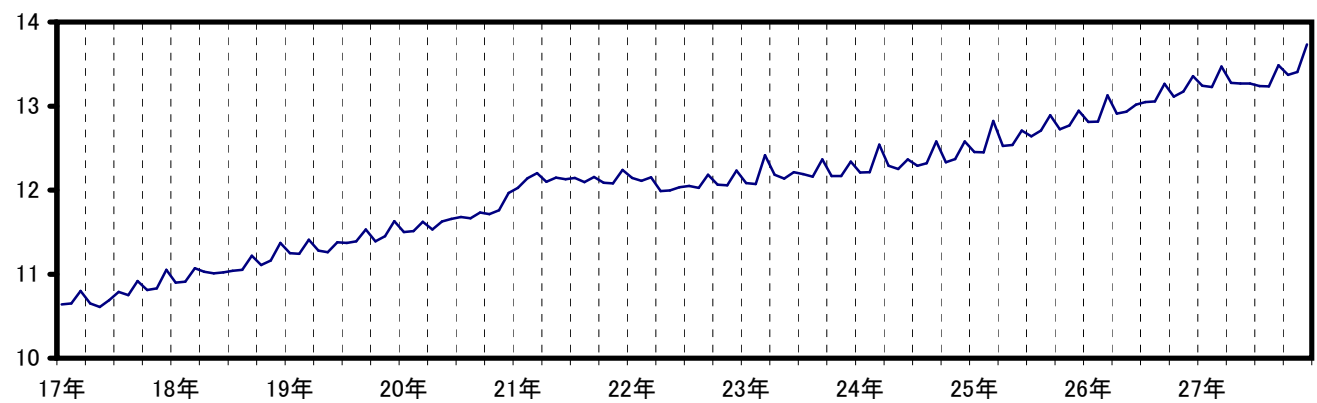
消費者物価指数(平成22年=100)

<資料>県統計調査課



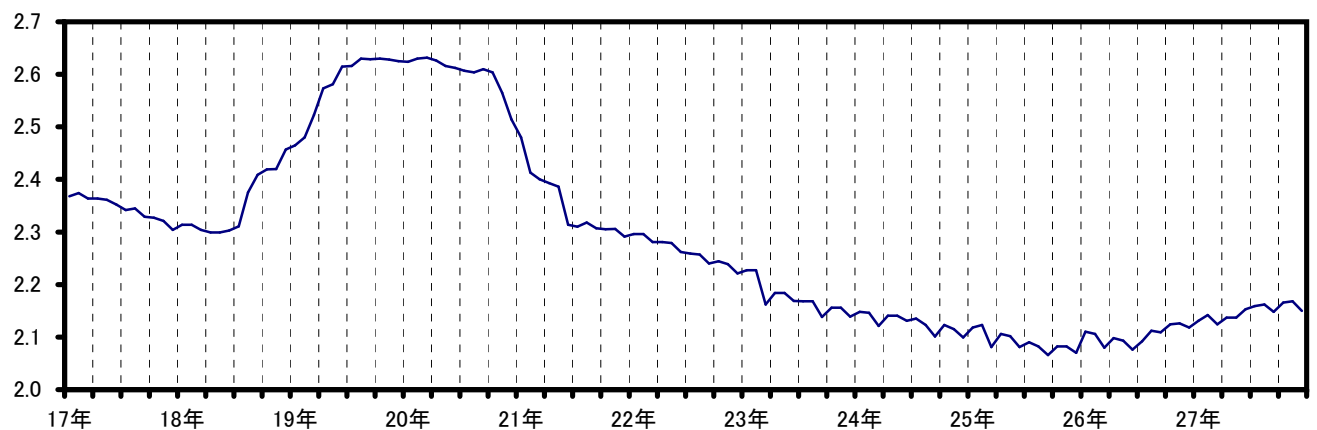
県内金融機関貸出残高(兆円)

<資料>日本銀行静岡支店



県内地銀平均貸出約定金利(%)

<資料>日本銀行静岡支店



**(3) 信用保証協会保証金額****12月 = 26,865百万円**

\*前年同月比： 12.6%減

## &lt;概況&gt;

12月の保証承諾は、金額が26,865百万円（前年同月比 12.6%減）と38か月連続で前年実績を下回り、件数は2,647件（同 16.6%減）と9か月連続で前年実績を下回った。

## &lt;最近の動き&gt;

	27年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
保証金額（百万円）	17,308	23,995	22,004	20,360	25,925	19,867	19,298	26,865
前年同月比（%）	▲ 22.6	▲ 5.8	▲ 14.0	▲ 5.8	▲ 2.3	▲ 5.1	▲ 8.9	▲ 12.6
保証件数（件）	1,956	2,639	2,365	2,233	2,635	2,142	2,015	2,647
前年同月比（%）	▲ 16.7	▲ 2.6	▲ 13.5	▲ 2.5	▲ 6.8	▲ 2.9	▲ 6.9	▲ 16.6

&lt;資料&gt;県信用保証協会

**(4) 円相場****1月 = 118.25円/ドル**

\*前月差： 3.59円高

（東京・銀行間直物中心・平均）

\*前年同月差： 0.01円安

## &lt;概況&gt;

1月の東京外国為替市場での対ドル平均円相場（銀行間直物）は118.25円で、前月と比べて3.59円の円高となり、2か月連続の円高となった。

## &lt;最近の動き&gt;

	27年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	28年1月
平均相場（円）	123.75	123.23	123.23	120.22	120.06	122.54	121.84	118.25
前月差（円）	3.01	▲ 0.52	0.00	▲ 3.01	▲ 0.16	2.48	▲ 0.70	▲ 3.59
前年同月差（円）	21.70	21.51	20.27	13.13	12.00	6.32	2.44	0.01

▲…円高

（注）東京外国為替相場・銀行間直物中心相場・平均

**3 企業経営****企業倒産件数****1月 = 19件**

\*前年同月比： 24.0%減

## &lt;概況&gt;

1月の負債総額 1,000万円以上の企業倒産件数は19件、負債総額は3,134百万円でいずれも前年実績を下回った。

原因別にみると、既往のシワ寄せ、販売不振を原因とするいわゆる「不況型倒産」が16件と全体の84.2%を占め、218か月連続して50%以上となっている。

## &lt;最近の動き&gt;

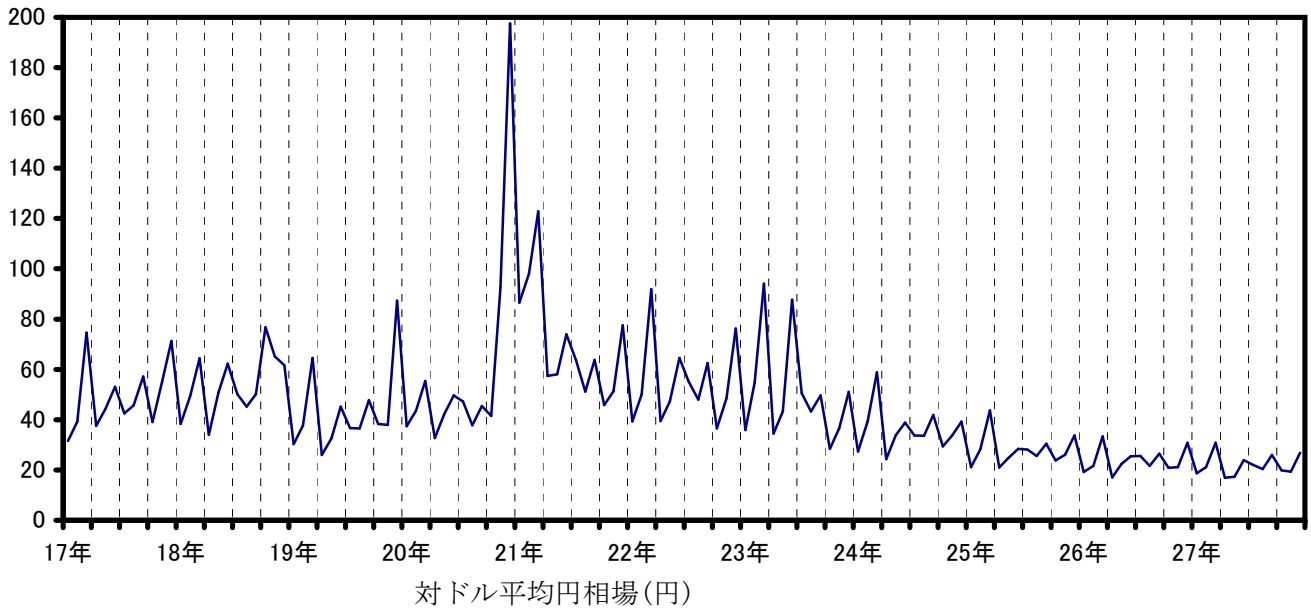
	27年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	28年1月
倒産件数（件）	21	23	18	27	18	24	19	19
前年同月比（%）	▲ 32.2	▲ 17.8	▲ 28.0	▲ 12.9	▲ 40.0	0.0	▲ 13.6	▲ 24.0
うち不況型倒産件数（件）	16	19	16	19	15	20	13	16
負債総額（百万円）	8,601	3,985	1,899	3,341	3,590	5,366	3,548	3,134
前年同月比（%）	112.0	▲ 5.2	▲ 59.5	▲ 56.5	12.7	82.8	▲ 11.6	▲ 51.0

&lt;資料&gt;（株）東京商工リサーチ静岡支社

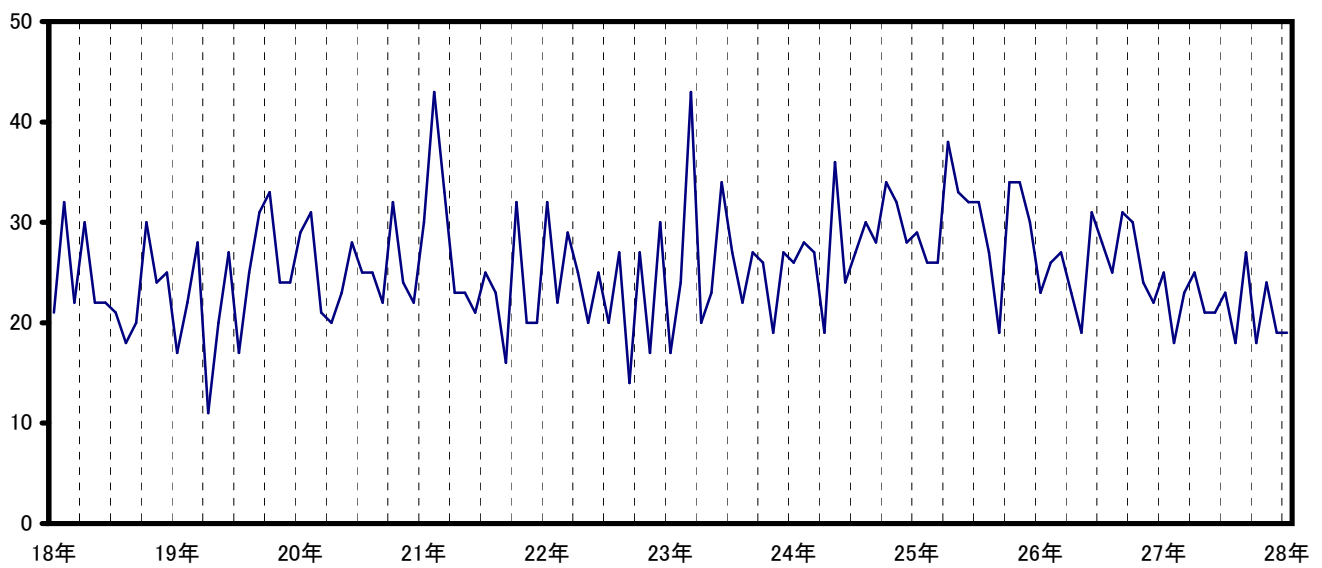
<過去10年間の推移>

信用保証協会保証承諾金額(十億円)

<資料>県信用保証協会



<資料>(株)東京商工リサーチ静岡支社



### Ⅲ 平成27年12月を中心とした静岡県主要産業の動向

業 種	産 業 動 向
二 輪 車 二輪車部品	<p>12月の国内二輪車生産台数は、53,296台（前年同月比 3.3%増）で、14か月ぶりに前年実績を上回った。特に、原付第一種（50cc以下）が8,012台（同 56.5%増）と好調であった。</p> <p>出荷台数は、国内向けは23,720台（同14.4%減）で、3か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>輸出向けは、46,909台（同 0.6%減）で、7か月連続で前年実績を下回ったが、輸出の主力車種で、主に北米・ヨーロッパに輸出している小型二輪車（251cc以上）は、37,454台（同 4.0%増）と13か月ぶりに前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本自動車工業会</p>
自 動 車 自動車部品	<p>12月の自動車国内生産台数は749,693台（前年同月比 2.3%減）となり、2か月ぶりに前年実績を下回った。また、輸出は411,865台（同 8.1%増）となり、4か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>国内生産は、乗用車が3か月ぶりに前年実績を下回ったことから、全体でも2か月ぶりに前年実績を下回っている。</p> <p>輸出は、北米向けが10か月ぶりに前年実績を下回ったものの、アジア向け、欧州向けがいずれも3か月連続で前年実績を上回ったことから、全体でも4か月連続で前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本自動車工業会</p>
電気機械	<p>12月の冷蔵庫の国内出荷額は、356億3,800万円（前年同月比 2.9%減）と2か月連続で前年実績を下回った。国内出荷台数も301千台（同 7.8%減）で、2か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>12月のエアコンの国内出荷台数は、家庭向けは593千台（同 0.6%増）で、5か月連続で前年実績を上回った。業務用は、57千台（同 8.7%減）で、9か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>11月の携帯電話と公衆用PHSを合わせた移動電話の国内出荷台数は、冬春モデルの出荷が本格化したものの、発売日の分散化もあり、1,900千台（同 24.1%減）で、先月の増加から減少に転じ、2か月ぶりに前年実績を下回った。うち、スマートフォンは、1,108千台（同25.3%減）となり、単月のスマートフォン比率は58.3%であった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本電機工業会、日本冷凍空調工業会、J E I T A / C I A J</p>
生産用 機械	<p>12月の工作機械の受注総額は、1,071億7,800万円（前年同月比25.7%減）と、5か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>内訳をみると、外需は646億1,300万円（同32.8%減）で、7か月連続で前年実績を下回った。特に、アジア向けが263億9,000万円（同46.4%減）と前年同月の半分近くの額となった。</p> <p>また、内需も425億6,500万円（同11.6%減）で、4か月連続で前年実績を下回った。長らく好調が続いた自動車業界向けも、150億8,300万円（同12.7%減）と2か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>一方、県内中小企業からは、海外の賃金高騰により国内に目を向けるメーカーが出てきたようであるとの声も聞かれた。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本工作機械工業会、静岡県中小企業団体中央会</p>



業 種	産 業 動 向
楽 器	<p>12月の県内楽器メーカーの販売金額は、55億6,900万円（前年同月比 1.0%増）で、5か月連続で前年実績を上回った。内訳は輸出向けが28億1,200万円（同 0.9%増）で、国内向けが27億5,600万円（同 1.0%増）であった。</p> <p>ピアノ生産台数は2,785台（同 5.8%増）であった。機種別では、アップライトピアノが1,805台（同 5.4%増）、グランドピアノが980台（同 6.5%増）であった。また、販売台数は、輸出向けが1,909台（同 6.6%増）、国内向けが1,310台（同14.7%減）であった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県楽器製造協会</p>
紙	<p>12月の紙・板紙の国内出荷高は、2,136千ト（前年同月比 1.1%減）で、前月の増加から減少に転じ、2か月ぶりに前年実績を下回った。内訳は、紙は1,191千ト（同 2.3%減）で、21か月連続で前年実績を下回り、板紙は946千ト（同 0.3%増）で、2か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>品種別では、主力の印刷・情報用紙が、645千ト（同 1.9%減）で、5か月連続で前年実績を下回った。ティッシュペーパー、トイレットペーパー等の家庭紙は、163千ト（同 0.2%増）と、4か月ぶりに前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本製紙連合会</p>
缶詰・飲料	<p>12月の県内生産量は、食缶類が国内向け879千箱（前年同月比17.0%増）と、4か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>分類別でみると、水産缶（国内向け）は657千箱（同17.5%増）と11か月連続で前年実績を上回った。うち主力であるツナ缶も481千箱（同24.9%増）と、8か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>農畜産缶（国内向け）は222千箱（同15.6%増）と、3か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>飲料缶類は、国内向けが6,466千箱（同 1.9%減）と、2か月連続で前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県缶詰協会</p>
織 維	<p>12月の広幅織物の県内生産は、1,749千㎡（前年同月比13.9%増）であった。このうち、綿布が主体の一般広幅織物の生産は、1,707千㎡（同14.1%増）であり、別珍・コールテンの生産は、42千㎡（同 7.1%増）であった。</p> <p>小幅織物の県内生産は、39千㎡（同 5.4%増）であった。</p> <p>12月は、先月に引き続き、前年同月比が全調査項目で増加となった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞遠州織物工業協同組合、天龍社織物工業協同組合、浜松織物協同組合</p>

業 種	産 業 動 向
家 具	<p>12月の全国百貨店での家具販売額は、69億700万円（前年同月比 3.9%増）と4か月連続で前年実績を上回った。また、大型量販店での家具・インテリアの販売額も、647億9,100万円（同 5.5%増）と6か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>こうした中、県内業界では、直売会の開催やイベントへの出展など、販路拡大に取り組んでいる。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本百貨店協会、日本チェーンストア協会、地域産業課</p>
小 売 業	<p>12月の県内百貨店の売上高は、化粧品の売上げは好調だったが、前年に比べて平均気温が高かったことにより、主力の衣料品が苦戦したため、前年同月比でマイナスとなった。</p> <p>ある百貨店からは、おせち料理は好調だったが、暖冬によりコートやセーターなどの冬物衣料が苦戦したという声が聞かれた。</p> <p>ある食品スーパーからは、野菜が相場安となり、また暖冬の影響で鍋物商材が苦戦したが、クリスマス商材やおせち料理などが好調となり、12月は前年同月並みの売上げとなったという声が聞かれた。</p> <p>12月の県内では、商店街地域で、クリスマスコンサートや仮装パレードなど、賑わいを創出するためのイベントが行われた。また、年末大売出しや、抽選会、餅つきなどのほか、鍋物のフードフェスティバルや、商店街にこたつ式の休憩スペースを設けるなど、各商店街独自の工夫で誘客促進を図った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県百貨店協会、静岡県地域産業課</p>
観 光	<p>12月の県内主要10観光施設の合計入込客数は約26万人で、前年同月比19.4%増となった。例年よりも温暖な気候であった上、天候にも恵まれたことにより、観光目的で外出する人が増加する結果となった。</p> <p>主要有料道路（5路線）合計の通行車両数は、約70万台と前年同月比4.0%増となり、順調に推移した。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県観光政策課</p>

## ＝ IVデータからみた県内主要産業 ＝

### <二輪車>

	27年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
完成車生産台数(台)	15,496	13,721	13,417	17,148	15,097	18,771	19,604	17,245	18,593
前年同月比(%)	17.1	▲5.0	▲2.6	▲12.3	▲8.1	▲7.6	▲22.5	▲21.9	▲14.6
KD輸出額(百万円)	1,020	937	822	913	708	794	1,018	724	922
前年同月比(%)	▲16.7	▲11.3	▲32.0	▲17.8	▲26.0	▲37.3	▲36.8	▲37.1	▲22.8

### <楽器>

	27年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
生産総額(百万円)	3,946	3,720	4,264	4,255	3,254	3,696	4,138	3,654	3,667
前年同月比(%)	▲12.5	▲14.8	▲9.3	▲10.6	▲2.4	▲4.0	7.6	6.6	5.8

### <缶詰>

	27年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
食缶生産高(千ケース)	925	893	1,059	1,008	859	910	976	968	882
前年同月比(%)	▲3.7	▲2.8	16.9	3.9	▲1.8	4.2	8.1	12.7	16.8
うち水産缶詰(%)	1.9	3.7	17.0	5.2	4.0	10.3	6.8	11.2	16.0
農畜産缶詰(%)	▲19.4	▲21.0	16.4	▲0.1	▲19.0	▲14.5	12.4	18.1	19.3
飲料缶生産高(千ケース)	7,891	7,820	8,765	8,637	7,172	7,133	6,316	6,770	6,466
前年同月比(%)	▲9.6	▲15.6	▲3.7	▲3.5	▲12.5	15.6	1.0	▲2.5	▲1.9

### <繊維>

	27年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
広幅織物(千㎡)	1,519	1,222	1,225	1,149	1,098	1,348	1,515	1,796	1,749
前年同月比(%)	▲1.7	▲2.8	▲0.6	▲1.7	0.3	3.7	5.9	13.7	13.9
小幅織物(千㎡)	39	40	38	36	33	39	40	41	39
前年同月比(%)	10.4	6.3	▲3.9	▲8.9	▲15.7	▲6.2	5.0	14.4	5.4

### <観光>

	27年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
観光施設(10施設)入込 (千人)	442	671	344	304	544	477	460	394	261
前年同月比(%)	▲31.9	▲25.1	▲22.6	16.6	▲3.6	10.2	28.7	▲1.7	19.4
有料道路(5路線)通行量 (千台)	650	717	624	709	847	692	692	687	701
前年同月比(%)	▲3.1	▲5.9	▲0.7	1.0	0.7	2.0	6.6	▲1.4	4.0

本書で掲載している県内の主要統計資料の時系列（過去10年間）のデータは静岡県公式ホームページの「統計センターしずおか」で公表しています。

静岡県公式ホームページ⇒統計・調査⇒統計センターしずおか⇒県内主要統計指標  
<http://toukei.pref.shizuoka.jp/>

需要面	生産面	雇用面	その他
・百貨店販売額	・産業用大口電力消費量	・有効求人倍率	・国内企業物価指数
・大型小売店販売額	・鉱工業生産指数	・雇用保険受給者実人員	・消費者物価指数
・自動車新規登録台数	・鉱工業在庫指数	・完全失業率	・県内金融機関貸出残高
・新設住宅着工戸数		・所定外労働時間指数	・信用保証協会保証金額
・清水税関支所管内輸出額			・企業倒産件数
・清水税関支所管内輸入額			

### 提供いただいている資料

資料名	提供元	ホームページアドレス
公共工事請負金額	東日本建設業保証（株）	<a href="http://www.ejcs.co.jp/region/index.html">http://www.ejcs.co.jp/region/index.html</a>
設備投資	日本銀行静岡支店	<a href="http://www3.boj.or.jp/shizuoka/kouhyou/hyousi_f.html">http://www3.boj.or.jp/shizuoka/kouhyou/hyousi_f.html</a>
貸出約定金利		
国内企業物価指数	日本銀行	<a href="http://www.boj.or.jp/type/stat/boj_stat/index.htm">http://www.boj.or.jp/type/stat/boj_stat/index.htm</a>
円相場		

### 参考となる全国の資料等

資料名	提供元	ホームページアドレス
鉱工業生産指数	経済産業省	<a href="http://www.meti.go.jp/statistics/index.html">http://www.meti.go.jp/statistics/index.html</a>
大型小売店販売額		
輸出入	財務省	<a href="http://www.mof.go.jp/siryou.htm">http://www.mof.go.jp/siryou.htm</a>
国際収支		
機械受注	内閣府	<a href="http://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/juchu.html">http://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/juchu.html</a>
消費者物価	総務省統計局	<a href="http://www.stat.go.jp/">http://www.stat.go.jp/</a>
家計調査		
完全失業率	厚生労働省	<a href="http://www.dbtk.mhlw.go.jp/toukei/kouhyo/index.html">http://www.dbtk.mhlw.go.jp/toukei/kouhyo/index.html</a>
有効求人倍率		

静岡県月例経済報告  
平成28年2月号 通巻478号

発行 静岡県経済産業部  
平成28年2月

編集 経済産業部管理局政策監  
〒420-8601  
静岡市葵区追手町9-6  
TEL 054-221-2635  
FAX 054-221-3217  
E-mail [keisan-seisaku@pref.shizuoka.lg.jp](mailto:keisan-seisaku@pref.shizuoka.lg.jp)  
URL <http://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/>